

塩竈市立病院事業調査審議会

会 議 録

(令和5年9月5日)

塩 竈 市 立 病 院

## 塩竈市立病院新改革プラン評価委員会

日 時 令和5年9月5日（金）18:30～

場 所 塩竈市立病院3階 会議室

### 次 第

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 報 告 今後のスケジュールについて 別紙1

4. 議 事 塩竈市立病院経営強化プラン(案)について

5. そ の 他

6. 閉 会

【出席者】

《委員（7名）》

本郷道夫（東北大学名誉教授）  
赤石隆（宮城県塩釜医師会会長）  
大井嗣和（宮城県塩釜医師会副会長）  
西條尚男（宮城県仙台保健福祉事務所保健医療監・塩釜保健所所長）  
中嶋満枝（市民代表）  
千葉幸太郎（塩竈市副市長）  
福原賢治（塩竈市立病院事業管理者）

《欠席委員（3名）》

佐藤賢一（東北医科薬科大学病院 病院長）  
遠藤圭（宮城県保健福祉部参事兼医療政策課長）  
小野憲幸（市民代表）

《事務局など》

佐藤正幸（副院長兼地域医療連携センター長）  
蜂谷真紀（看護部長兼地域医療連携センター副センター長）  
鈴木康弘（事務部長）  
平塚博之（経営改革室長兼業務課長）  
庄司晃（医事課長）  
堀江佳弘（業務課総務係長）  
高橋茂仁（経営改革室係長兼業務課経理係長）  
渡辺美香（経営改革室主査兼業務課経理係主査）

《傍聴者》 8名

《報道》 1名

## 1. 開会

ただいまから、塩竈市立病院事業調査審議会を開催いたします。

## 2. 会長挨拶

○本郷会長（開会あいさつ）

今日の資料にも記載のある、初期の段階でバタバタしている仙台の4病院の統廃合はどんな影響を及ぼすのかなと思っていたら急にドタバタになってきて、また先が見えない状態でおります。ただ、この4病院がどうなるかという事は、塩竈市立病院がどうなるかという事にも決して少なからず影響が出てくるので、それに関しては注意して見ていかないといけない時に思います。それから、今、福原先生も忙しいようですが、コロナがまた拡大してきたという事で現場の先生方の色々なご苦勞が絶えないと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

## 3. 報告

今後のスケジュールについて

レジメに基づき事務局より説明。

○本郷会長

事務局からの説明は以上ですが、大きく変わったところというと県に2回報告があります。この報告というのは、別紙1のところに書いてある①②③④。この項目がきちんと網羅されているかどうかという事の確認がメインになってくるのではないかと思います。ここで県の方から大きな修正はおそらく入らないだろうという事で、今日ご審議いただく内容をもって県の確認を受けてパブコメに行く。そして確認をもらうまでにちょっと時間がかかるという、そういうふうにご理解いただきたいと思います。

このスケジュール等について、ご質問ございますでしょうか。

○赤石委員

別紙1の総括された意見等を公立病院に報告とありますが、どこに報告するのですか。

○事務局

ここでいう病院は、統括された意見、会議の中の意見について、各々の該当する病院に対して県から報告をされるといった事となります。その後、時をおきまして議事録がホームページにおいて公表予定されております。

○本郷会長

報告というのはフィードバックが入るという事ですか。他にご質問よろしいでしょうか。

○福原委員

大変申し訳なく思っております。我々の認識不足です。今回の経営強化プランは県の地域医療調整会議にかけなくてはいけないという事と、県の確認が必要である。それからパブリックコメントが必要で、その後に正式なプランになるという事で、我々、認識が非常に不足しておりました。皆さんに本当にご迷惑をおかけいたしました。

○本郷会長

ここはよろしいでしょうか。それでは次が議事の4番です。この強化プラン、この冊子についての説明をしていただきたいと思います。目次のⅢ 塩竈市立病院の現状まで事務局から一括で説明をお願いいたします。

#### 4. 議事

##### 塩竈市立病院経営強化プラン（案）について

はじめに

##### I 策定の趣旨

##### II 塩竈市立病院を取り巻く環境 について

##### III 塩竈市立病院の現状

レジメに基づき事務局より説明。

## ○本郷会長

はい、ありがとうございます。それでは、今ご説明いただいた内容についてご質問、あるいはコメントはございますでしょうか。

仙台医療圏としても人口は減っている。高齢者は人数も増えていく。塩竈市の2市3町で減っているのと比較するとちょっと緩いかもしれないが、仙台全体としても人口は減ってきているというところが、これからの医療を考える上での重要なポイントになってくると思います。そういうふうになってくると、当然病床機能が急性期より回復期の方に重点を置かざるを得ない。そして、実際に必要病床数としても急性期病床は過剰、そして回復期が圧倒的に不足しているという状況はいろいろな数字から見えてくると思うのですが。

ご質問よろしいですか。高度急性期に関しては、塩竈だけで見ると180床不足とはなっているけれど実質的には仙台市内の方に依存しているので、ここは目を瞑っていい場所だとは思いますが、回復期はやっぱり圧倒的に不足しているという状況です。

コメントございますか。後は実際に数値で見えていくと、診療単価は入院も外来もいい数値を出しているのですが、いかんせん患者数は目標に届いていないというところも気をつけていかなければいけないという事だと思います。

## ○千葉委員

6ページ、7ページに仙台医療圏と2市3町の人口推計。社人研のが載っていると思うのですが、多分今度の12月もしくは1月に5年ぶりに推計が公表されると思います。冒頭、今後のスケジュール、5ヶ月遅れぐらいになりましたけれども。多分データの差し替えはされると思うのですが、傾向としては同じようなトーンのものしか出てこないと思うのですが、データ差し替えはされるのかどうか。それから、会長から回復期の病床不足の話でございましたけれども、私、5年前、6年前に県の担当課長をしておりました。公立病院の役割っていう形で申しますと、政策医療が基本という形になって、民間では不採算な部門を基本的には税の負担でやるという建前になっておまして、一般的には小児周産期、それからここでやっていた救急それから離島を抱えておりますので、こういったところが本市特殊な部分かなと思っています。今回の国の行政でも出てきました新興感染症といった部分を広い医療圏の中だけで見てもらう事ではなくて、やっぱり地域の中で医師会との連携も踏まえながら、果たしていかななくてはいけないという要素もあると思っております。そして、回復期は確かに不足しているのですけれども、公立病

院としての役割もやはり一方で果たしていかなくてはいけないというふうに考えておりますので、開設者である一方で病院管理者のもとで運営される病院の方と表裏一体なしながらいろいろ検討していかなくてはいけないのですけれども、やはり一定の医療機能の役割は果たしていかなくてはいけないのかなと思ってこれまで4月以降聞いておりますので、今回の様なプランの方向性でいいのかなというふうに思っています。データの差し替えのところだけちょっと確認をして。

○事務局（事務部長）

はい、ありがとうございます。データの差し替えであれば、基本的な方向性に全く変更はないという事でありますので、最新のデータが出た時点で最終的に皆さんにお諮りする際に差し替えはしたいと事務局では考えております。

○本郷会長

はい、今の話からすると、急性期をある程度維持するという事。あとは回復期とのバランスを保っていく事になろうかと思うのですが。

○福原委員

よろしいですか。2040年までの医療需要というのは読めるのですが、その先はちょっとわからないんですね。ですので、とりあえず今回のプランに関しては2040年までの状況を踏まえた対策という事で考えていただければと思っております。

○本郷会長

他にご意見よろしいでしょうか。健康推進のところで予防接種の事だったのですが、ここで子宮頸がんワクチン接種対応されないですけど、これは病院として対応できますか。

○福原委員

子宮頸がんワクチンですか。いろんなところから頸がんワクチンを推奨するというか、いろんな副反応で一旦中止になったものが再開されていますよね。ただ、我々のところは週に1日しか婦人科外来がないので問い合わせ自体が極めて少ないです。ですので、社会全体がこの子宮頸がんワクチンの対応が進んでくるのであれば、我々も積極的に取り組まなくてはいけないのかなと

は考えております。

○本郷会長

小児科で対応してもらえればそれでも、内科でも。

○福原委員

もちろん小児科でも対応可能だと思います。

○大井委員

婦人科もちろん少ないんですよ。子宮頸がんワクチンはむしろ小児科とかの方が絶対数が多いので、どんどんやっつけていいんじゃないですかね。

○本郷会長

うん、小児科の先生方の対応ができれば。

○大井委員

やった方が良くと思います。

○本郷会長

他にご意見よろしいでしょうか。

○中嶋委員

ワクチンの話が出ましたけれども、带状疱疹ワクチンというのはテレビでアナウンスされたりしますけれども、市立病院は带状疱疹ワクチンはしてないんだと私の知り合いが言っていましたけど。

○福原委員

やっております。ただ非常に高額なんですよね。2回摂取しないといけないという事で1回、2万2千円、2回で4万4千円という事でご希望の方には接種しております。



○中嶋委員

私の知り合いの人から市立病院ではやってないんだってと今日話を聞いたんですね。

○福原委員

それは、ちょっと情報がうまく伝わってなかった可能性があります。

○中嶋委員

では、次会った時は修正しますけれども、ありがとうございます。

○本郷委員

いろいろな形での広報というか、情報を伝達しないと。他によろしいでしょうか。なければ次のIV 基本方針で計画期間、役割機能の最適化と連携の強化について事務の方から説明をお願いします。

## 塩竈市立病院経営強化プラン（案）について

### IV 基本方針

#### 1. 計画期間

#### 2. 役割・機能の最適化と連携の強化

レジメに基づき事務局より説明。

○本郷会長

今のところまで1と2に関して、この段階での質問よろしいですか。

○中嶋委員

20ページなのですが、目標の表に関して見ますと6番と7番CT・MRIの検査が令和4年の実績値よりも強化プラン目標値は抑えてありますけれども、それは実績よりも低いというのはどういう考え方からきて低く設定なさっているのかなと思いました。

○事務局（放射線科長）

はい。確かに過去2年間で3,000件を超えている年度も2年程ありましたが、現在地域の病院というのはCTをもっている病院が増えていまして、紹介率がCTに関して減っております。それで若干抑えております。

MR Iの方ですけれども、1,200件の目標は、今までの1,300件がもとになっています。こちらの方もCTをもっている病院が増えていまして、紹介率のところが減っています。それで、減っているというか、ちょっと伸びない。

○中嶋委員

CTとMR Iの機械を更新して、良い機械が入ったとどこからか聞いた記憶があるのですが、そういうところをPRしたら、そういう数字は多少は影響出るのではないかなと思います。そういう事もされてると思いますけれども。

○本郷会長

他の項目でも実績より目標が低いところがいくつかあるのですが、これ、マンパワーが十分に供給できないから等、その理由でもあるのですか。

○福原委員

急性期の医療に関しては、やはりどうしても近隣の大病院というのが進んできていて、この部分の患者確保がかなり厳しくなってきたというのが実際にあると思います。実現不可能な数値を掲げるという事が、果たして正しい目標設定なのかというところを非常に悩みまして、この数値目標に関しては実際に担当者に検討してもらった数値です。ここは、実は議会等でもその達成率が問われる項目になっておりまして、この掲げた項目のうちの何項目が目標に達したという事で評価されます。ですので、実現不可能な高い目標にしてしまうと、ここでいう23項目のうち何項目しか達成してないというような評価になってしまうので、現実には則した数値を設定することが良いのではないかとこの事で今回大きく数値目標を見直したと、こういう事でございます。

○本郷会長

はい、他によろしいでしょうか。

○赤石委員

目標ですからね、だから決め方によっては色々操作できるのだと思います。目標を達成していると実績を上回っているのは、目標の決め方はどうなんだというふうになってしまいますが。目標ですけど、これはどういう志を持って目標を立てるという事によってかなり違って来るだろうなあという感じています。

○福原委員

そうですね。実は平成28年の前回のプラン策定の時と今では、もう全然状況が変わっています。急性期病床の数も違いますし、回復期にシフトしたという事もあります。そういう事もあって、実際に担当している部署がこのくらいを目標にやっていきたいという事を尊重した結果になっております。赤石先生が仰るように、目標を低く設定するという事が果たして正しいかという事ももちろん検討した結果、このような目標で4年間行きましょうという事でございます。

○本郷会長

議会の方では、実情を理解しないで、数値だけでいろんな意見が出てくる。

他によろしいですか。

○千葉委員

はい。関連しまして、議会という話がありましたけれど、この20ページの項目の13番ですね。休日夜間の急患受け入れ件数が1,500件という目標になるので、議会ではこういう急患みたいなところに敏感に反応するので、説明できる理由とかが用意しとかないと、その現実的な数値という時の背景説明とかいったところが求められるのかなと思います。

○福原委員

医師の働き方改革が影響しています。休日に関しては、日中、時間外という事で対応するのですが、夜間に関しては宿日直許可というのをとっています。これは基本的には寝当直という事で、救急の対応がしにくくなっているという事だと思います。当院の当直が、院内の医師が45%、大学の先生が55%対応しています。夜間当直の宿日直が取れていないと次の日の勤務ができないうんですよ。ですから、大学からの当直医の派遣がもらえません。このような事から、夜間の受

け入れを今後伸ばしていきましようというようなスタンスにはどうしてもなれないのです。そういう事もあって、日中はしっかり診て夜間に関しては必要な方をしっかり診ていくという事で、この数値目標の設定をあえて下げたという事でございます。

○本郷会長

周りの環境がいろいろ複雑に変化してきているところで、非常に苦しい計画の立て方になっているのだと思います。他にご意見いかがでしょうか。

なければ、中断した3医師・看護婦等の働き方改革、6番の施設の最適化のところまでお願いします。

#### 塩竈市立病院経営強化プラン（案）について

#### IV 基本方針

3. 医師・看護師等の確保と働き方改革
4. 経営形態の見直し
5. 新興感染症の拡大時等に備えた平時からの取り組み
6. 施設・設備の最適化

レジメに基づき事務局より説明。

○本郷会長

ありがとうございます。以上について、また皆さんからご意見、コメント等をお願いします。

○赤石委員

市長に答申するわけですよね最終的に。ちょっと私が強調しておく、やはり病院の構造が、今後を見据えて抜本的に変えなくてはいけないと考えている事をもうちょっとはっきりしたらどうかと思う。新興感染症に対応するための法的な構造の必要性というか、そういうふうに述べて、この病院が他と違ってそういう構造を備えたものに一早くなるんだという書き方で、是非やっていただくといいと思う。どう書けと言われても、ちょっと困るんですけど。

古い古いというのはもちろんそうなのですが、今後は構造の改革が絶対必要だと、それができ

るのはここだけだというような書き方を是非していただければいいのではないかなと思います。

○本郷会長

その辺を強調しておかないと、いざ設計はしたものの予算でここ削れ、あそこ削れと言われて、肝心なところが削られてしまったのでは困るので。

○福原委員

感染症対応ができる病院というのは、実は非常にコストがかかると思います。動線を分けなくてはいけないとか、それから個室一つ一つも空調の問題とかもありまして、やはり非常に厳しいというふうに思うのですけれども、今回の経営強化プランの中ではっきりと新興感染症を含めた感染症対策を明記していますので、建て替えという事になればこの部分はしっかり整えていかなければいけないと思います。ありがとうございます。ちょっと、そこは少し考えましょう。

○赤石委員

感染症は、つまり一旦発生すれば病院の収入もガタ落ちになるわけですよ。各県内の小さな病院で、その補助金のために病床を設置したはいいのですが、そのために院内にクラスターが出てしまって、結構大変な事になっているところがあるんですね。そうすると、結局のところ経営状態も怪しくなってくるという事で、やはり感染対策をやる事は経営の健全化にも資するという点がありますので、その辺ぜひ強調していただきたいなと考えています。

○福原委員

これまでの経緯を見ても当院には実は結核病床がありました。しかし、最初にダウンサイジングする時に削られたのが感染症でした。やはり、経営面から非常に厳しいという事で、一番カットされやすい部分なのかもしれないのですけれども、今回のプランは必ずここを盛り込んでいなくてはならないと考えています。

○本郷会長

感染症に関しては、つい最近まで減らせ減らせ、なくてもいいというような風潮に言っていましたけど、コロナになって改めて見直さなさいという事、そして今回の公立病院改革にしても、

総務省からそちらに改めて焦点を当てて注力するよという事を言っているの、その辺を踏まえて、もうちょっと強調してもいいのかなと思います。

はい。他によろしいでしょうか。なければ基本方針の7。経営の効率化そして後は目次VIの資料まで事務局から説明を。

## 塩竈市立病院経営強化プラン（案）について

### IV 基本方針

#### 7. 経営の効率化等

### V 経営強化プランの実施状況の点検・評価・公表

### VI 資料

レジメに基づき事務局より説明。

#### ○本郷会長

はい、ありがとうございます。いろいろなプランのところについての説明をしていただきました。皆さんからご質問いかがでしょうか。

#### ○中嶋委員

はい、先ほど先生が仰った新興感染症に絡めて、新病院の建て替えという事の訴えに関しましてです。26ページにまとめてあるような観点から、強くアピールするとしてもですね、市民の理解を得るという事がすごく重要になってくるのではないかなというふうに思うんですよ。市民の方が、よく市長さん相手に訴えていたりとか、そういう場面に遭遇する事はあるのですが、本当にこの市立病院は市民にとって必要な病院だという点を何らかの形でアピールしていかなければならないのではないかなと思うんですね。いろんなホームページやらなんやらと言うのだけれど、多分それではない。すごく弱いんだと思うんです。だけど、何か大きなアクシデントがあった時に、やっぱり市立病院だわと感じてもらえる事があればいいチャンスなのだろうが、そうでもない限り、今なんか市民は、市立病院は市からの繰入れで賄っているんじゃないかと、昔からのそういう強い意見を言う方がいらっしゃいます、それは事実だと思うのです。だから、そうじゃないよ、黒字になっているんだよとか、そして、こういう時に私たちは役立っているんだ

という事を訴えていかななくてはいけないのかな。それは、市民に対してもそうですし、今、議会が新しくなったところですよ、市長さんも。だからメンバーもだいぶ変わっていると思います。市民に理解を求めるとともに、議員の皆様に対しても、説明する方は大変だと思いますけれども。そのところを捉えて、なんとか26ページのところが達成できる事を本当に願っています。個室にトイレも風呂もない、それでは感染症に罹ってここで何日間も入院して身を預けるよりは、他に行っちゃうとなるのが普通じゃないかなというふうに思うのですが、そのところを如何に理解してもらえるかというところが難しいなと思いますが。頑張ってください。

#### ○本郷会長

はい、いろいろな形での広報ですね。病院が何を目指しているのかという。そういったところをいろいろな形で広報していくか。その辺がもう大事なところだと思います。議員さんをいかに味方につけるか、これも大事なものだと思います。

#### ○赤石委員

はい、私。塩竈市の10年計画というものに参画させていただいて、その時もやはり一般の委員の方からかなり厳しい市立病院に対する意見というのをもらったのですが。ただ、10年計画の中には市立病院があるから塩竈市が、というようなものをぜひ織り込んでくれと言って、病院があるからいい街という1項、1文だけが残ったわけなんですね。

先ほど千葉委員からお話があったとおり、繰入金というのは例えば市の不足分をカバーする。例えば赤石病院は赤字部門の小児科とか婦人科は持てない。民間の赤字部分だけじゃないですか。そういうところをカバーして、子育てするなら塩竈市というふうなつもりで、そういう繰入れの予算を使うとか、そういうふうにしていかれると、将来にわたって、そういうものを使って、少子高齢化をこの街は防ぐんだぞというふうなつもりで構想もすごく大事だと思っておりますので、ぜひそういう方向で。この委員会では、経営の事が非常に大変。現実問題としてあるから仕方がないので、医師も含めて欲しいし、市民にそういう安心感を与えるような構想を述べてもらいたいなと思っております。さっき千葉委員のご発言からはそのように感じました。どうぞよろしくをお願いします。

○本郷会長

今のような話も含めて、市民に対する啓蒙活動になりますね。今まではコロナの感染予防という事で、みんな自粛、自粛で何もできなかつたりで、またちょっと今感染拡大傾向にきてはいますが、そういった中で市民に直接いろいろな情報提供する、そういう場所をどこかで、この中とはちょっと別かもしれないですけどちょっとでも必要なのかな、そういう事も感じます。

○福原委員

そうですね。これは歴史を遡るという事になるのですが、一旦ついたイメージを払拭するのは非常に大変です。やはり、かかりつけの患者さんの中にも厳しい意見を述べられる方もおられます。ただですね、公立病院はやはり政策的な医療をしているという事を、今後、先ほどあったように、新しい議員にはそのようなお話をしっかりしていかななくてはいけない。そして、理解を得るという事が非常に大事なのではないかなと思っています。そして、この病院を持つという事を市の財産というふうに議会で話した事があるのですが、医療とかそういうものは、やはり町の安心安全の非常に大事なところですよ。そこを塩竈市が担ってるんだという、そういう自負を持っていただきたいと思います。そこに我々がそれに応えるだけの医療提供をしていかななくてはいけないというふうに思っています。そして、特に今回も発熱患者さんの対応というのが非常に厳しくて、救急もこれまで当院は月に80件ぐらい診てたのですけれども、先月170件を診ました。もう倍ぐらいの対応。職員全員が協力してやってるのですけれども、そういうきちんとした形を残して市民の理解を得ていく事が大事だというふうに思っています。つまり、これまでと同じようでは理解が得られないので、今後市立病院に期待される医療は何なのか、そこにきちんと応えていく、それを数字で出していくという事が必要なのかなというふうに思って、今取り組んでいるところです。

○本郷会長

はい、迂闊にこれだけたくさん患者さんを診ましたといっても困るので、感染拡大を起こす事なくこれだけの数の対応をしますという広報していただくと市立病院に対する市民の見方を変える一つの役に立つのかと思います。他に全体を通してですが、ご意見いかがですか。

西條先生、またご意見いただいていないんですけど。



○西條委員

皆様方も仰ったとおりでございます。いかに建て替えが必要かという事をアピールするしかないと思いますし、お話をいろいろと運ばなければ建て替える必要があるものが少なくないと思うのですが。今のところアピールしていかなければ、今仰った事は実現しないのではないかなと改めて感じた次第です。

○本郷会長

はい、ありがとうございます。他によろしいでしょうか。

○中嶋委員

はい、8月に私ちょっと具合が悪くなって、肺炎になったんですね。その時、とても具合が悪くて記憶がないくらい具合が悪かったんです。その時にここに運ばれてきて、実に優しく本当に感謝してるところなんです。だから、そういう体験を皆さんがなさる機会があると、この良さが骨身にしみてわかるじゃないかなというふうに思います。ですから、役所の方も利用なさっていただいて、それを感じていただく。だから窓口等も頑張ってもらえば感じいいなと評判が上がってくるという。そういう地道な事も大事ではないかなというふうに思います。この場を借りまして、先日のお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

○本郷会長

はい、そういう事も含めて、何らかの形の広報誌みたいなのもあってもいいのかな。あまり大げさにならない程度の、職員の負担にならない程度で、そういうものができればいいかなというふうには感じます。あと他によろしいでしょうか。病院の将来を考えるうえで、その辺強調しておきたい、そのような事ございませんか。

地域医療構想を踏まえたプランと、その中での新興感染症の最後の問題そして市立病院の固有の問題として老朽化した施設をいかに早く更新してもらうか、これは政治的な問題になるのですが、そこも含めて経営強化プラン等、そういったものの中に盛り込んで最後のまとめを作りたいというふうに思います。

この内容全体をまとめて、最終的に塩竈市長への中間答申にして整えていきたいと思いますが、皆様からございませんか。そして中間答申をした上で県へ報告し、フィードバックを確認した上

でパブコメ、そして最終答申という事で進めていきたいと思ひます。

以上で審議を終えたいと思ひますが、追加よろしいですか。なければ、その事務局に進行をお返しいたします。

## 5. その他

その他につきましては、事務局からはございませぬ。皆様から何かございませぬでしょうか。

## 6. 閉会

それでは、予定されていた審議を終了させていただきます。

以 上

閉会 午後7時50分